

神奈川県立の博物館・美術館 令和8年度展覧会スケジュール

	金沢文庫	歴史博物館	生命の星・地球博物館
	3/20～5/17		常設展(通年)
4	特別展「至高の宝蔵」 日本中世の東国を代表する称名寺の文物を守り伝えるために開館した金沢文庫が精選する、魅力あふれる至高の品々を紹介します。		2/21～5/10
5	5/22～7/20 特別展「いわきの古刹 長福寺と薬王寺—東海興律・密教研鑽—」 現在の福島県いわき市には長福寺と薬王寺という、その歴史を物語る中心寺院があり、両寺は金沢称名寺や鎌倉極楽寺とも密接な関係にありました。両寺の文化財を中心に紹介し、鎌倉地方との関係を明らかにします。		企画展 「自然史アーカイブズをひらく」 博物館には、第一線の研究者やナチュラリストらが作った資料が残されています。研究の過程で生み出された生物画、フィールドノート、手紙、写真フィルムなど、標本以外の知られざる資料を紹介し、それらを保存する意義についても考えます。
6		工事のため10月16日まで休館しています。	
7	7/25～9/13 特別展「昭和と金沢文庫」 「昭和100年」という節目の年にあたる今年、県立金沢文庫では、激動の昭和をくぐりぬけてきた当館の足跡を、ゆかりの文化財や当時の記録などからたどる展覧会を開催します。		7/18～11/8
8			特別展 「しらべて分かった！ 里山にくらす動物たち」 人里と奥山の間にある里山には、昔からたくさんの生き物がすんでいて、さまざまなかたちで人々の生活と関わってきました。 本特別展では、里山の現状や調査研究から見えてきた野生動物の生態を紹介し、これからの人と里山の生き物たちとの関わり方について考えます。
9	9/18～11/8 特別展「国宝でたのしむ仏教美術」 仏教美術を中心とした個人コレクションと、国宝「称名寺聖教」といった称名寺ゆかりの文化財をあわせて展覧し、バラエティ豊かなコレクションの世界をご紹介します。	常設展(10/17以降、通年) 10/17～12/13 特別展「入門！ 神奈川県立歴史博物館—県博の守り伝えていくコレクション—」 再開館最初の特別展は当館のコレクションのなかから選りすぐりの資料を展示します。神奈川県ゆかりの資料が目白押しです。リニューアルした展示室で、たくさんの資料が皆様をお待ちしています。	
10			
11	11/20～1/17 特別展「湛耨(たんえい)—国宝を繋いだ称名寺長老—」 国宝「称名寺聖教」の発見と研究の歴史をたどりながら、鎌倉幕府滅亡後の動乱期に称名寺長老をつとめた湛耨の生涯と思想を紹介します。	1/23～3/22 特別展「昭和100年—神奈川県けんばく60年のあゆみ—」 本展示では、当館の収蔵資料をもとに昭和100年と博物館の歩みを振り返ります。とくに県立博物館(当時)が開館したころに収集した民俗資料や、関東大震災以降を対象とする現代資料などを通じて、当時の人々の暮らしと地域の様相をご紹介します。	
12			
1	1/22～3/22 特別展「禅籍の精華—建仁寺両足院の学問」(仮) 建仁寺の塔頭・両足院の蔵書(慶應義塾大学附属研究所斯道文庫寄託)と、神奈川県立金沢文庫が管理する「称名寺聖教」中の関連典籍を通して、中世禅律寺院における宋元仏教の受容や学問の一端をお伝えします。		
2			2/20～5/9 企画展 「森は動く(仮称)」 武田信玄の軍旗として有名な「風林火山」では、「其の徐なること林の如く」と言われていますが、森(林)も動いています。静かに見える森の中で、森の木々はさまざまな駆け引きをしています。そんな「森の動き」に迫ります。
3/5	3/27～5/16 特別展「集まれ！ 金沢文庫の生き物たち」(仮) 金沢文庫でお預かりしている資料のなかから、動物や植物にかんする絵画、彫刻、聖教などを厳選し、中世の人々が思い描いた生き物の姿を見ていきます。		
施設情報	住所 〒236-0015 横浜市金沢区金沢町142 電話 045-701-9069 アクセス 京浜急行「金沢文庫」駅東口からバスまたは徒歩12分、またはシーサイドライン「海の公園南口」駅から徒歩10分 休館日 月曜日(祝祭日は開館) 年末年始 展示替期間 休館日の詳細は ホームページをご覧ください。	住所 〒231-0006 横浜市中区南仲通5-60 電話 045-201-0926 アクセス みなとみらい線「馬車道駅」5番出口から徒歩1分、JR根岸線「桜木町駅」新南口から徒歩5分、または市営地下鉄「関内駅」9番出口から徒歩5分 休館日 【～10/16】工事のため休館。建物の外観はご覧いただけます。【10/17～】月曜日(祝祭日は開館)、年末年始、資料整理休館日 休館日の詳細はホームページをご覧ください。	住所 〒250-0031 小田原市入生田499 電話 0465-21-1515 アクセス 箱根登山電車「入生田(いりうだ)駅」から徒歩3分 休館日 月曜日(祝祭日は開館) 年末年始 館内整備日 燻蒸期間 8月は無休 休館日の詳細は ホームページをご覧ください。

◆展覧会の名称及び日程は現時点での予定となります。最新の情報は各館のホームページ等でご確認ください。

神奈川県立の博物館・美術館 令和8年度展覧会スケジュール

近代美術館 葉山		近代美術館 鎌倉別館
4	3/7～5/31 あんせい 内間安理・俊子展 色を織り、記憶を紡ぐ	3/7～5/31 福田尚代 あわいのほとり
5	6/13～8/30 もはやない国のかつてない光 東ドイツの女性写真家たち 第二次世界大戦後、東西の国家に分断されたドイツ。1990年の再統一によって消滅したドイツ民主共和国（東ドイツ）で女性が写真家としてキャリアを形成し、自身の芸術表現としても優れた作品を手がけたことは、ドイツ写真史において近年まで見過ごされてきました。ベルリンのラインベックハレン財団が管理するスヴェン・ヘアマン氏のコレクションを中心に、当時、あるいは現在も重要な作家として活動する15人の女性写真家を紹介する本展は、かつて存在した国で社会と日常の光景に注がれた繊細な視線と確かな技術に注目し、それらの作品が果たした役割を考えるものです。	5/30～9/27 山室眞二の著版画〈かまくら博物誌〉 併陳 コレクション 暮らしの中で 山室眞二は、じゃがいもを版とする著版画を独学で制作し深化させてきただけでなく、装幀や造本なども多数手がけています。本展ではこれまでの作品に加え、作家と交流のある志村ふくみの言葉を取り上げた新作《志村ふくみの言葉 百葉筥》も展示します。また、所蔵品の中から麻生三郎などがそれぞれの日常から題材をとった作品も併せて紹介します。
6	9/12～11/15 銅版画家・駒井哲郎 掌上にひろがる星座のように 日本の版画史に重要な足跡を残した銅版画家・駒井哲郎。世田谷美術館の福原義春コレクションを中心に、これまで紹介する機会の少なかった初期の油彩画や、初公開となる童話『夢を追う子』の挿絵原画などを展示します。駒井が関心を寄せ、影響を受けたオディロン・ルドンをはじめとする国内外の作家の作品、銅原版、制作道具、写真などを通し、多岐にわたる創作活動と、その人間像に迫ります。	10/17～1/31 ポーランド・ポスター2 銅版画家渡辺千尋旧蔵品から ポーランド・ポスターの国際的評価を認識していた銅版画家の渡辺千尋は、1989年の東欧革命直後にポーランドを訪問して以来、ポスターの収集を続けました。250点を数えるそのコレクションは遺族から寄贈され、当館がすでに所蔵していた295点と合わせて、ポーランドのポスター史を概観する上で重要なコレクションを形成しています。渡辺千尋旧蔵品から、ミェチスワフ・グロフスキヤスタシス・エイドリグヴィチウス（1949-）など、革命前後に活躍したポスター作家の作品約70点を紹介します。
7	11/28～2/28 松本陽子 宵の明星を見た日 松本陽子は、1950年代後半から抽象絵画を追求し、1960年代にアメリカで抽象表現主義とアクリル絵具に出会ったことで、光と色に満ちた唯一無二の平面表現を展開しました。1990年代後半からはふたたび油彩画に取り組み、現在も精力的な制作を続けています。近年国際的な再評価の著しい松本の70年を超える創作の軌跡を、最初期から現在に至る代表作、そして本展に向けて描かれた新作で展覧します。	2/13～5/23 深川遙想 伊東深水と関根正二 伊東深水と、関根正二は、東京市深川区（現・東京都江東区）で育った幼なじみです。画家を志したふたりは、関根が20歳で夭折するまで、刺激を与え合いながら親しく交流しました。1910年代に描かれた伊東深水の初期作品を初公開し、国民的画家の知られざる若描きの作品に光をあてるとともに、関根正二の代表作を展示し、ふたりが互いに及ぼした影響を辿ります。
8	3/13～6/13 須田悦弘展 精巧に彫り上げた草花を空間に展示して作品とする田悦弘（すだ・よしひろ/1969-）の、葉山館周辺に見られるさまざまな植物をモチーフにした作品を含む新作を中心に展示します。また、作家自身が選んだ当館所蔵品とそれにまつわる新作をともに展示し、時代をも超えた未知の対話が生まれる場をつくりだします。	3/13～6/13 田中岑 色の軌跡 - 《女の一生》から 1957年、第一回安井賞を受賞し、新進気鋭の作家として注目されていた田中岑は神奈川県立近代美術館 旧鎌倉館の喫茶室に壁画《女の一生》を制作しました。本作は2016年の鎌倉館閉館に伴い葉山館の講堂前ホワイエへ移設され、今年で制作から70年、移設から10年を迎えます。画業の重要な起点である《女の一生》を主軸とし、所蔵作品を中心に田中の軌跡を辿ります。
9	住所 葉山町一色2208-1 電話 046-875-2800 アクセス JR横須賀線「逗子駅」東口、京浜急行「逗子・葉山駅」南口から京浜急行バス「逗11、12系統(海岸回り)」乗車、「三ヶ丘・神奈川県立近代美術館前」下車 休館日 ・月曜日（祝日と振替休日は開館） ・年末年始 ・展示替期間 ※ホームページ等でご確認の上、ご来館ください。 開館時間 9:30～17:00（入館は16:30まで）	住所 鎌倉市雪ノ下2-8-1 電話 0467-22-5000 アクセス JR横須賀線、江ノ島電鉄線「鎌倉駅」から徒歩15分 休館日 ・月曜日（祝日と振替休日は開館） ・年末年始 ・展示替期間 ※ホームページ等でご確認の上、ご来館ください。 開館時間 9:30～17:00（入館は16:30まで）

◆展覧会の名称及び日程は現時点での予定となります。最新の情報は各館のホームページ等でご確認ください。